

歴史散策

【平家ゆかりの地】

平野地域史跡マップ



TOPICS

最近、下祇園町の工事現場でも平家に近い有力者のものと思われる、大きな建物の柱の跡や器などが発掘されました。

1 祇園神社

清盛は現在の祇園神社（869年に創建と伝えられています）の裏山に潮音山上伽寺（ちょうおんざんじょうかじ）という天台宗の寺を建立して、海の潮の音を聞きながら経ヶ島築造の計画を練ったと伝えられています。裏山からはさらに、上伽寺で使われたと思われる鳳凰の文様の瓦が明治中期に発見されています。

2 元暦元年の五輪塔

元暦元年（1184年）は一ノ谷の谷の戦いで潮音山上伽寺が焼失し、また多くの平家一門が討たれて平家が屋島へ敗走した年です。このことを後世の人が憂い、南北朝時代に建立した供養塔と伝えられています。現在は民家の中に設置されています。このお宅は江戸時代末期に、海軍操練所を開設した勝海舟が仮の住まいとしていたところです。

3 祇園遺跡

平成6年の道路の拡幅工事の際、庭園の池の跡が発掘されました。また、京都産の瓦や、中国製のとても珍しい焼き物の碗も出土しています。これらのことから、この遺跡は清盛に近い有力者の邸宅の一部と考えられています。



4 湯屋跡（湊山温泉）

清盛と同時代の貴族、中山忠親の日記「山槐記」によれば、雪見御所の北へ一丁（約100m）のところに湯屋（温泉）があると記されていて、現在の湊山温泉とほぼ同じ場所にあったと考えられています。清盛も好んでこの温泉に入ったと伝えられています。

5 雪見御所旧跡

雪御所町は、明治時代まで雪之御所という小字（地名）があったことから、清盛の邸宅「雪見の御所」があった地とされています。明治41年（1908年）の湊山小学校校改築の際に、校庭から多くの土器や瓦、建物の礎石が見つかり、これも校庭から掘りだされた庭づくりに使用されたと考えられる大きな石を使って「雪見御所旧跡」の石碑が建てられました。

6 荒田八幡神社

荒田八幡神社近辺は清盛の弟である平頼盛の邸宅があった場所で、少し高台になっているのは、もっと古い時代に古墳だったからです。福原遷都の際には、安徳天皇の仮の住まいとして使われたといわれています。境内には昭和55年に建てられた福原遷都八百年の碑もあります。

平野へのアクセス ◆JR三ノ宮駅より市バス7系統平野バス停下車約19分 ◆JR神戸駅より市バス9、110、112系統平野バス停下車約7分